

会 議 録

会 議 名	第 1 回森岡地区拠点施設基本構想・基本計画作業部会
開 催 日 時	令和 7 年 3 月 26 日 (水) 午後 1 時 30 分から午後 4 時 00 分まで
開 催 場 所	東浦町役場 西会議室 1 (北側)
議 題	1 はじめに ・企画政策課よりあいさつ ・作業部会について 2 これまでの検討結果 ・事例勉強会、整備計画検討会①②、施設管理者ヒアリングについて ・計画書概要版について ・各種アクティビティについて 3 ワーク 1 「複合施設に必要なスペースを考えよう！」 ・アクティビティを受け、必要スペースの洗い出し 4 ワーク 2 「必要なスペースをイメージしよう！」 ・各スペースの内容イメージを検討 5 全体共有 6 おわりに
備 考	会議の詳細は「別紙 1 第 1 回作業部会ワークとりまとめ」参照

会 議 名	第 2 回森岡地区拠点施設基本構想・基本計画作業部会
開 催 日 時	令和 7 年 4 月 22 日 (火) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで
開 催 場 所	東浦町役場 合同委員会室
議 題	1 あいさつ 2 基本構想 (案) について ・各課照会の内容反映について ・導入機能等の検討 3 施設計画について ・第 1 回作業部会の振り返り ・必要とされるスペースについて ・小学校規模について ・施設規模及び配置方針について 4 今後の流れ ・以降の作業部会・検討委員会・整備計画検討会等の流れ
備 考	会議の詳細は「別紙 2 会議録 (第 2 回森岡地区拠点施設基本構想・基本計画作業部会)」参照

第1回作業部会 ワークとりまとめ

(1)ワーク概要

森岡地区拠点施設基本構想・基本計画の検討にあたって、ワークショップ形式にて、必要となるスペースについて検討しました。

日時： 令和7年3月26日 午後1時30分～4時

場所： 西会議室1(北側)

参加者：	①グループ	②グループ	③グループ
	ふくし課 森	学校教育課 鬼頭	学校教育課 竹内
	スポーツ課 重野	土木維持課 足立	上下水道課 竹内
	総務課 山本	児童課 山本	森岡コミュニティセンター 神谷
	児童課 稲熊	公園緑地課 小川	
	森岡児童館 向井		まちづくり課 櫻井

(2)ワーク内容

1) ワーク1「複合施設に必要なスペースを考えよう！」

個人ワークとして、アクティビティ一覧表を見て、「このアクティビティとこのアクティビティは、同じスペースで出来そう」を、各自ふせんに書き出し。ふせんをグループ内で共有し、各スペースをグルーピングしました。

2) ワーク2「必要なスペースをイメージしよう！」

それぞれのスペースに対して、各カードの利用者・人数・利用時間を見ながら、必要となるスペースの内容を検討し、「スペースボード」を作成しました。



【凡例】

スペース名	
主な使い方 ・利用者	内容 (仕様・配置 ・部屋数等)

(3)ワーク結果

ワーク1及び2の各グループの検討結果を以下に示します。

①グループ

大スペース		会議室		子どもの居場所		まちの保健室	
・イベント、スポーツ ・体育館 ・運動場	・広い空間 ・各種スポーツが可能な仕様 ・式典等も対応(椅子等) ・音響	・地域住民のサークル等 ・打合せ ・小学校の授業 ・教職員会議	・小人数から大人数まで使用できるような部屋数 ・音楽、図工、理科の授業で使用する設備	・乳幼児と保護者 ・小学生～高校生 ・地域住民 ・遊び場、居場所 ・学校や家以外の居場所的な所	・机、椅子 ・広いスペース ・乳幼児の怪我に配慮 ・授乳スペース、親子で利用できるトイレ	・不登校児の相談、居場所 ・地域住民の困りごと相談 ・家族全体をフォロー	・個室 ・相談を受ける専門員配置
図書、学習		調 理		展 示			
・小学生、地域住民サークル ・図書室、貸し出し、自習室、宿題	・机、椅子 ・wi-fi ・TV ・幼児のスペース ・個室	・家庭科の授業 ・料理系のコミュニティ ・消防団の休憩 ・サークル活動	・20～30名使用のコンロ等調理器具 ・飲食スペース ・防火仕様の設備	・児童、生徒、地域 住民の作品を展示	・通路に展示 ・ロビー等のスペースに展示 ・部屋ではないスペースがよい		
事務スペース		軽運動		更衣室			
・各職員の事務	・空調設備 ・wi-fi ・事務机、椅子 ・貴重品 BOX ・セキュリティ統括 設備	・地域住民サークル ・小学校の授業	・体育館(フローリング) ・子供がケガをしにくい内容にする	・教職員の更衣 ・運動施設利用者の更衣 ・避難者 ・消防団	・シャワー室 ・男、女、多目的の 3 部屋		

②グループ

協 働	
・町の保健室 ・地域の休憩所 ・ボランティア活動の拠点	・掲示スペース ・事務スペース ・机と椅子のある ゆったりとしたスペース

屋内運動	
・体育館 ・ステージ ・消防の待機場所	・ホール ・乳幼児用のスペース ・日中に一般の方が利用する サブアリーナ

調 理	
・料理機能 ・食堂機能(子ども食堂) ・消防の休憩場所 ・コミュニティスペースの 調理室 ・カフェ	・広い空間 ・各種スポーツが可能な仕様 ・式典等も対応(椅子等) ・音響

子ども支援	
・アフタースクール、 児童預かり ・子どもの居場所、 不登時の支援	・小さいスペースと 大きいスペースの 2部屋 ・世話役となる人の 常駐

事 務	
・事務(役場系) ・事務(教職系) ・共用の打合せ スペース	・パソコンや電話 が設置された デスク ・個人情報に配慮 した仕様

学 び	
・展示スペース ・特別教室 (理科室、調理室等) ・図書スペース	・作品展示、学び紹介コーナー ・活動ごとに部屋が必要 (音楽室、理科室、図画工作室、 被服室、視聴覚室) ・インプットとアウトプットが できる場所(50名収容可)

交流拠点	
・老人クラブ ・小学校のクラブ	・防音対策 ・和室 ・ホール

③グループ

会議スペース	
・団体、サークル利用者 ・各クラブ利用者 ・一般住民 ・老人クラブ	・机、椅子、ホワイトボード ・20 名、30 名…等利用者によるキャパシティ ・必要あれば和室 ・仕切りにより大きさ変えられる間仕切り

食に関するスペース	
・学生の調理実習 ・地域の料理クラブ ・地域イベントでの地産地消	・大きめの料理室 ・キッチン(多機能)と飲食スペース ・6～8 人掛けの卓(コンロ付)を 6 ブロックくらい？ ・火災を考えて、民間の宅地から遠い角地が好ましい

運動スペース	
・地域住民 ・小学校児童 ・老人クラブ⇒軽運動、サークル活動、小さいイベント ・利用者は全年齢の方	・ホール(194 m²)や体育館(アリーナ 450 m²)が必要 ・湯沸室、更衣室あるのが望ましい ・運動会やプロジェクター使用した映画鑑賞(備品必要) ・小さい運動会ができるくらいのスペース必要

学びに関するスペース	
・小中学生－読書、勉強 ・地域住民－勉強 ・小学校授業(音楽、理科、図工) ・利用者は全年齢の方	・図書館(130 m²程) ・小学校の図書館・会議室、休日開放に需要あり。勉強できる！ ・専用スペース(音楽、理科、図工)必須

子どもの居場所に関するスペース	
・小学校児童 ・中高生ボランティア ・地域住民 ・不登校児 ・スクールカウンセラー ・子ども食堂や地域の食に関すること	・保健室機能⇒プライバシーの確保 ・間仕切が必要？ ・相談室、談話室

子育てに関するスペース	
・児童預かり ・乳幼児の遊び場 ・児童の遊び場 ・親子で使える遊び場	・中程度の広さの体育館、遊戯室 ・乳幼児に向けた小規模で遊具等がある遊び部屋があると良い ・学校帰りに寄りやすいように、学びに関するスペースに隣接

管理スペース	
・学校…職員室等 ・コミセン…事務室 ・地域…地域学校協働、活動拠点 ・児童館等 ・選挙投票所 ・PTA やコミュニティの入った団体	・セキュリティで別室でも、更衣室、会議、倉庫、トイレ、リフレッシュスペース(印刷室、給湯室)は共に交流できる中間流域のようなオープンスペースの近くにあるとよい

オープン・交流スペース	
・学校、地域…発表、交流、展示、連携 ・外部…休憩、イベント ・団体	・屋内 or 屋外(セキュリティ) ・各施設をつなぐ、中心的な場所となる所 ・エントランス、ホワイエスペースのようなふらっと寄れる場所 ←アクセスしやすい ・1 つの空間だけど多様な使い方ができると良い ・各施設とはセキュリティあるけれど見える ・電源等の設備(イベント等) ・ベンチ(魅力的) ・見える、ガラス張りのようなスペースがいい

会 議 録

会 議 名	第2回森岡地区拠点施設基本構想・基本計画作業部会	
開 催 日 時	令和7年4月22日(火) 午後1時30分から午後3時45分まで	
開 催 場 所	東浦町役場 合同委員会室	
出 席 者	委 員	ふくし課 地域共生社会推進係 若狭 ふくし課 社会高齢係 森 教育課 学校教育係 稲熊 教育課 森岡児童館 向井 子育て支援課 指導保育士 竹内 子育て支援課 保育係 山本 土木管理課 維持修繕係 足立 建設企画課 事業推進係 榎本 建設企画課 建設係 鈴木 建築施設課 建築係 山田 建築施設課 予防保全係 板谷 都市デザイン課 基盤整備係 櫻井 都市デザイン課 都市計画係 竹内 環境課 環境マネジメント係 末高 住民自治課 森岡コミュニティセンター 神谷 水循環管理課 治水マネジメント係 青木 都市整備課 公園緑地係 小川 教育課 教育企画係 久米 教育課 森岡小学校 伊藤 (R6 校務主任) 教育課 桑山 教育課 教育企画係 竹内 教育課 個別化・個性化教育アドバイザー 鬼頭
	事務局	町：中村財政経営課長、久野施設再編係長、竹内主事 日本工営都市空間株式会社：中垣、田邊、山本
議 題 (公開又は非公開の別)	1 あいさつ 2 基本構想(案)について ・各課照会の内容反映について ・導入機能等の検討 3 施設計画について ・第1回作業部会の振り返り ・必要とされるスペースについて ・小学校規模について ・施設規模及び配置方針について 4 今後の流れ ・以降の作業部会・検討委員会・整備計画検討会等の流れ	
備 考	—	

1 あいさつ（公開）

財政経営課長より挨拶。

2 基本構想（案）について

- ・各課照会の内容反映について
- ・導入機能等の検討について

基本構想（案）について事務局より説明し、意見交換を行った。

◇教育課 個別化・個性化教育アドバイザー 鬼頭：

P.2 基本方針①学びの拠点について、個別化教育というよりも、個性化教育としてほしい。その他記載部分についても、個性化教育で統一いただきたい。

◇土木管理課 維持修繕係 足立：

P.1 東浦町の特性及び森岡地区の特性について、マスタープラン等の図面が掲載されているが、防災面等も考えた方が良く考える。数年前に立地適正化計画を策定しているので、掲載してもらった方が良く思う。

◇事務局 中村：

概要版の紙面の関係上、図としての掲載はないが、立地適正化計画の居住誘導区域にあたることを記載する等、立地適正化計画を踏まえた内容になっている。

◇土木管理課 維持修繕係 足立：

状況について理解した。問題ない。

◇教育課 学校教育係 稲熊：

P.4 導入機能について、児童館は保育機能に含まれているが、多世代交流の役割を持っている。保育機能だけと誤解を生まないようにしたい。

◇事務局 中村：

どちらにも記載するべきか、どちらかを主たる機能とするかどちらが良いか。

◇教育課 学校教育係 稲熊：

児童館はどんな方も立ち寄れる空間としての役割を持っているため、保育機能のみとはしない方が良く考える。

◇事務局 田邊：

交流連携機能にも児童館の要素を含む記載とする。

◇教育課 教育企画係 竹内：

P.4 新規アクティビティについて、これですべてなのかという疑問がある。すべてを洗い出すことが難しいのであれば、もう少し柔らかく書けると良いのではないかと。

導入機能についても、複合化した際の余白が魅力となると考えている。施設だけではなく、外構

やオープンスペースについても検討いただきたい。

◇事務局 田邊：

アクティビティは一例として扱い、これで決定というわけではなく、余白を持たせたように記載する。

◇子育て支援課 保育係 山本：

多世代交流ということを考えると交通難民の方も訪れる施設となる。山間にあるという土地柄を踏まえ、バス停の配置など配慮してあげられると良い。

◇事務局 久野：

基本構想には盛り込められないかもしれないが、今後検討する。

◇教育課 教育企画係 竹内：

P.4 導入機能①教育機能について、「オープンスクールを踏まえた」というより、現時点では「個性化教育の推進」という部分が前提条件となると考える。

◇事務局 田邊：

小学校や教育課と表現等調整させていただきたい。

◇教育課 児童館 向井：

P.4 導入機能について、アフタースクールと児童クラブ機能は、どちらも児童を預かっているの
で、今後統合するという動きもあるが、合体して考えていくのかそれぞれ別機能として考えてい
くのか整理が必要。

◇事務局 久野：

前々から議論になっていると思うが、進捗はあるのか。

◇教育課 児童館 向井：

まだ、担当レベルで何か動いているものではない。

◇教育課 教育企画係 竹内：

アフタースクールと児童クラブ、児童館は機能上性質が違う。現状は、空間的な制限があること
から、児童クラブ及び児童館機能は児童館で実施しているという側面がある。

◇教育課 個別化・個性化教育アドバイザー 鬼頭：

預かる時間の違いも関係する。

◇ふくし課 社会高齢係 森：

P.4 既存機能の整理について、老人憩の家における、サロン活動とゆうゆうクラブの囲碁将棋等の
活動は別なので、分けて記載いただきたい。

◇教育課 森岡小学校 伊藤：

P.4 導入機能⑥支援機能について、校内支援は校内教育支援と変更、スクールカウンセラーには「学習指導員」を加筆いただきたい。

また、複合拠点に求められる新規アクティビティについて、入学式・卒業式と並べて記載いただきたい。

◇教育課 教育企画係 竹内：

わくわくするようなイメージ図があると良い。

◇事務局 田邊：

基本計画段階にて検討を進めていく。

◇都市整備課 公園緑地係 小川：

P.4 複合拠点に求められる新たな機能・アクティビティについて、それぞれのアクティビティをどんな団体が推進していくのかを検討する必要がある。

◇事務局 田邊：

基本計画の管理運営計画の中で、関係課と共に検討していきたい。

◇事務局 久野：

記載しているアクティビティを全て実施するわけではなく、様々なアクティビティが可能な空間とするための想定としてとらえていただきたい。

◇ふくし課 地域共生社会推進係 若狭：

P.4 導入機能⑥支援機能の部分で、福祉の観点から、コミュニティソーシャルワーカーについても記載いただけると良いと思う。

◇ふくし課 社会高齢係 森：

概要版の中で数回記載のある「避難所」と「避難場所」は意味が違うので使い分けるか、並列して記載いただけると良いと思う。

3 施設計画について

- ・第1回作業部会の振り返り
- ・必要とされるスペースについて

第1回作業部会の振り返り、及び必要とされるスペースについて事務局より説明し、意見交換を行った。

◇教育課 個別化・個性化教育アドバイザー 鬼頭：

資料03 管理のスペースについて、小学校の職員室は守秘事項が多くセキュリティも必要なので、後々分ける必要があることがわかるようにすべきと考える。

◇事務局 田邊：

管理のスペースとして設けるが、隣接するかどうか等の検討は配置計画で行う。

◇教育課 教育企画係 竹内：

資料 03 小学校のスペースについて、前段では「総合教室型/特別教室型/教科教室型等の最適なあり方に留意が必要」と挙げられおり、現状は方向性が決まっていな中で普通教室と記載して良いのか。教室形式はフレキシブルな使い方ができると良い。一般的には普通教室となると考えるが。

また、集いのスペースはもっと多用途に使えると思うので、ダイアグラムの色塗りの範囲を広げても良いと思う。

◇事務局 中村：

概要版として「総合教室型/特別教室型/教科教室型等」と公表されてしまうと、検討状況の説明が必要になる。使いやすい教室のあり方などやわらかい表現に改める。

- ・小学校規模について
- ・施設規模及び配置方針について

小学校規模、及び配置方針について事務局より説明し、意見交換を行った。

◇教育課 個別化・個性化教育アドバイザー 鬼頭：

資料 04 小学校規模検討について、どのケースであっても、多目的室がすごく小さく感じる。この面積では個性化教育の推進には支障をきたす。面積削減の必要性も理解しているが、複合拠点の方針として個性化教育を掲げるのであれば、もう少し面積が必要であると感じる。

◇教育課 教育企画係 竹内：

現在の森岡の小学校の面積はどう算出しているのか。緒川小学校と森岡小学校がほぼ同一面積というのは違和感があり、再配置計画などのどの数値を集計しているのか。また、普通教室の面積も標準であると思うが、今後の動向を踏まえると足りるかどうか不安を感じている。また、管理部 700 m²とされており、現況に則った数値が設定されていると思うが、現在の森岡小学校職員室は極端に狭い状況であり、複合拠点整備にあたっては改善が必要な状況となっている。

また、資料 05 について、屋外空間も重要な要素になるため、中庭やグラウンド等の要素も含まれているとわかりやすいと感じた。

◇事務局 山本：

管理部面積は資料に反映していきたい。

普通教室面積 8m×8m は、「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」（令和 4 年 3 月）の検討資料より引用している。今回の意見を受け、設定数値は調整したいと考える。

小学校面積について、再配置計画では総管理計画より数値を引用しているが、今回は詳細な検討のため、学校台帳等より算出している。今回は、体育館面積を抜いた数字となっていることから、再配置計画時と面積は異なっている。

◇教育課 教育企画係 竹内：

体育館を省いた面積としても、森岡小学校と緒川小学校では規模が大きく違うイメージを持っているため、改めて数値を確認してほしい。

◇事務局 中垣：

屋外の配置について、今回の資料では、まず建物としてこういった配置・関係かを検討した。今後、屋外部分についても整理していきたい。

◇教育課 教育企画係 竹内：

複合施設となると、各施設を繋ぐ屋外スペースが重要となるため、良い方向にしていきたいと感じる。

◇教育課 森岡小学校 伊藤：

先ほどの発言のとおり、現在の森岡小学校の職員室は狭い。

また、教室の数について、19 学級となっているが、特別支援の学級は増えている状況である。森岡小学校はあいち小児保健医療総合センターに近く、センター隣接の県立大府特別支援学校から転入するケースも多いため、8m×8mの普通教室サイズは不要だが、ある程度の空間を用意してあげたい。

また、最近では、着替えへの配慮も必要となっており、諸室設定の際に併せて検討する必要がある。

また、給湯室や職員トイレについて、現在は教職員の休憩や相談等の場所にもなっている。他施設と共用するという話であれば、話が漏れてしまう懸念もあるため、配慮が必要になると感じる。

◇子育て支援課 保育係 山本：

保育園の民営化は現在検討中であるが、保育園の敷地はどの程度想定していただけているのか。

◇事務局 久野：

児童課との話し合いの中で検討させていただきたい。

◇建築施設課 予防保全係 板谷：

資料 04 について、多目的室は学校として必要なスペースということで良いか。

◇事務局 中垣：

学校として必要なものとして整理している。資料 05 内の「⑥学びのスペース」の面積検証にあたっては、小学校規模検討の CASE2 の面積を引用しており、平日昼は学校での利用、その他時間帯は地域での利用を想定している。

◇建築施設課 予防保全係 板谷：

了解した。個性化教育に向けて、多目的室の面積が少ないという意見があったが、地域側の共有スペースも、小学校教育における多目的なスペースとして活用することも想定できると感じており、総合的に考えていく必要があると思う。

◇事務局 中垣：

地域のスペースや軽運動に係る場所も、小学校側で活用できる諸室であると考えており、配置計画と併せて考えていきたい。

◇教育課 個別化・個性化教育アドバイザー 鬼頭：

地域と学校の間にそういった共有スペースが配置されているということで、多目的に利用できる
と理解した。

◇ふくし課 社会高齢係 森：

資料 05 の配置方針について、駐車場の共有に関する記載があるが、消防団詰所における車庫は共有する
のか、屋根を設けるのか等、どのような想定がされているのか。

◇事務局 田邊：

現在の配置方針は、配置に係る大まかな方針を示したものである。消防団詰所の車庫等、施設管理
者ヒアリングにてご回答いただいた意見については、今後の詳細な配置検討において検討して
いきたい。

◇都市整備課 公園緑地係 小川：

資料 05 の「③子ども・支援のスペース」における面積検証について、乳幼児遊び場や、子どもの
居場所は屋内の認識で良いか。

◇事務局 中垣：

その認識で良い。

◇都市整備課 公園緑地係 小川：

保育園には、園庭も必要である。幼児と児童の遊び方が異なるため、小学校のグラウンド等とは
分ける必要が出てくると考えている。

◇事務局 中垣：

保育園の園舎及び園庭における規模感は、ヒアリングをしながら検討していきたい。
グラウンドについては、保育園の園庭とは区別することを踏まえつつ、屋外施設全体を検討して
いきたい。

◇都市整備課 公園緑地係 小川：

第 1 回作業部会にて、不登校児の支援について、子ども支援のスペース内で、他児童もいる共有
スペースと一緒にすることは良くないという意見もあった。場合によっては、不登校児への配慮
も必要になると感じる。

◇事務局 中垣：

動線等の関係は、基本設計内の基本条件に記載することになると思われる。基本構想・基本計画
内では、今のご意見も含め申し送り事項として記載していきたい。
文言については修正する。

◇教育課 児童館 向井：

児童館の機能として、児童館は地域の子どもが自由に寄れる居場所、児童クラブはお預かりする
ということで目的が分かれている。地域の居場所としての空間と児童クラブ室は分けているのか。
また、アフタースクールはどこで過ごすのか。

◇事務局 中垣：

現状記載しているのは、合計でどの程度の面積になるかを検討している。改めて詳しい話をお聞かせいただき、諸室設定に反映していきたい。

◇教育課 個別化・個性化教育アドバイザー 鬼頭：

児童クラブやアフタースクールの活動は、軽運動やその他スペースでも実施可能であると思う。体育館面積は、現在の北部ふれあいセンター面積よりも広がっているのか。

◇事務局 中垣：

そのとおりである。体育館の規格として、バスケットボールコートを想定して面積を設定している。

◇教育課 個別化・個性化教育アドバイザー 鬼頭：

小学校体育館と北部ふれあいセンターの活動では用途は違うと考えている。小学校では球技等のスポーツが行われており、北部ふれあいセンターでは剣道等を行っていると考えている。

◇事務局 中垣：

諸室設定にも反映したい。実際の使い方を含む詳細部分は、今後のヒアリングにて調整させていただきたい。

◇教育課 教育企画係 竹内：

北部ふれあいセンターは比較的築年数が浅いため、ある程度は複合施設と併存しながら、使える建物は使っていきたいと考えている。すべての施設を残すことは財政負担上難しいことを理解しており、どうしていくのかは検討が必要であると思う。

◇事務局 田邊：

削減方針に係るご意見として頂戴する。今後の人口推移も踏まえ、複合拠点面積をどう設定していくのか検討が必要であると考えます。

◇教育課 教育企画係 竹内：

30%面積削減という目標を絶対条件とするのか、保育園民営化や、既存施設の継続使用をどうカウントしていくのか、落としどころを作業部会内でイメージしておいた方が良いと考える。現時点での建替施設と将来的な建替施設での状況が異なり 30%削減の目標をそれぞれどのように設定すべきかと思ひ。

普通教室についても、児童数に応じてグラデーションで部屋の使い方を変えていけるような運用ができると理想的である。

また、複合施設となった場合に、建築基準法等の観点から、直接道路からアクセスできるといった要件もあると思われるため、建築的な視点でも検討しておく必要がある。

◇事務局 中村：

現在は面積検討の段階であり、今の時点で 30%削減を本当の目標とするかを議論するのは難しいと考えている。再配置計画でも記載されているとおり、現在の施設をそのまま建て替えて維持していくことは難しいため、住民意見も踏まえて、町全体のバランスを考慮して検討していく必要

がある。

◇教育課 教育企画係 竹内：

設計段階において面積削減を図ることは難しいと考える。現在の学校を取り巻く環境に鑑みると、面積増の要因が複数ある。最終的には面積表の形で提示されると思われるが、後々に削減目標を回すことは難しいと考える。

◇事務局 中村：

どこかの段階では削減目標を出す必要があり、設計段階より前には決めていきたい。まずは削減することを前提としつつも、複合拠点に必要な機能が何かを考えていきたい。

◇教育課 教育企画係 竹内：

余白が施設を良くすると思うため、面積を減らす努力はするが、増えることもある。

◇事務局 中垣：

建築基準法については、用途によって敷地割りをする必要があるため、要件は改めて整理したい。

◇教育課 教育企画係 竹内：

避難の要件で問題が生じることも考えられる。大きい病院では、隣接した薬局が道路からアクセスできるように配置されていることがあった。本事業においても、分棟で建物を整備する際等に、支障が出ないかと気になった。

◇事務局 中垣：

別敷地にするか等、要件を整理した上で配置計画を検討していきたいと考えている。

4 今後の流れ

事務局から今後の流れについて説明。